

2012

12月

東日本大震災被災地へボランティア(5～7日)
 東京都・関東支部ボランティア隊7人が宮城県南三陸町へ出動。
 「リクナビLIVE」にブース出展(9日)【1月号】
 (株)リクルート「リクナビSUPER開幕★LIVE2014」(幕張メッセ)に「パチンコ産業合同説明会」のブース。635人集め、盛況だった。
 各種申請に係る手数料で政令改正(14日)【1月号】
 遊技機メーカーの認定、検定、遊技機試験、型式試験等の手数料、ホールが支払う営業許可、変更承認の手数料に関する積算の変更。13年4月1日施行。

2013

1月

業界14団体が賀詞交歓会(29日)【2月号】
 パチンコ・パチスロ産業21世紀会を構成する14団体が6回目の賀詞交歓会。ホール関係5団体が「子供の車内放置防止対策マニュアル」を発表。

2月

遊技産業活性化プロジェクト初会合(27日)【3月号】
 正副会長をメンバーに、遊技機、経営等の諸問題が取り上げられた。遊技機に関しては、後に全日遊連、日工組との現行遊技機検討会。

3月

「2012年ファンアンケート調査」の結果公表(14日)【4月号】
 プレー時間の伸びが目立つ。来店目的が「実益」から「時間消費」へ変化の傾向。価格の多様化で賛成派が8割以上に。
 一般社団法人移行を正式決議(14日)【4月号】
 第6回定例理事会で、移行のための新しい定款案が提出された。
 「遊技機アワード2013」表彰式(19日)【4月号】
 日遊協主催。優秀なパチンコ機、パチスロ機に「大賞」「特別賞」が授与された。

4月

警察庁が「2012年風営白書」を公表【5月号】
 店舗数が17年連続で減少した。パチスロ設置店は2年連続で増加。

5月

第3回エッセー・絵手紙コンクール入賞者決定(15日)【6月号】
 最終審査委員会でエッセー部門に秋山瑞葉さん(21)(香川県多度津町)、絵手紙部門に大串勇二さん(36)(東京都杉並区)が最優秀賞に決定。
 深谷友尋会長が勇退を表明(16日)【6月号】
 第1回定例理事会で深谷氏は「一般社団法人へスムーズに移行できる状態になり、自分の責務は全うした」と述べた。同氏は会長として6期12年、日遊協と遊技業界を牽引した。

「日遊協 仙台共生の森」植林(17日)【6月号】
 東日本大震災の津波で被災した海岸防災林を再生させる林野庁のプロ



新旧交代。庄司孝輝新会長(左)から花束を贈られた深谷友尋前会長



無事に育つように心を込めて植える「仙台共生の森」



アワードで表彰された喜びのメーカー代表(左端・大久保正博 遊技機委員会担当副会長、右端・内藤裕人 同委員長)

日遊協と産業界 本誌に見るこの1年

「活性化」へ日遊協主動 庄司新体制がスタート

ジエクトに参画、仙台市荒浜地区にクロマツ、ヤマザクラ計840本を植えた。
被災地へボランティア(18~19日)【9月号】
東京都・関東、九州の両支部ボランティア隊計17人が宮城県南三陸町に出動。各団体総会で指導者が交代【6月号】
日工組理事長に金沢全求氏、余暇進代表理事に笠井聡夫氏、PCS A代表理事に金本朝樹氏が就任。

6月
日遊協新会長に庄司孝輝氏(13日)【7月号】
第24回通常総会で深谷会長が正式辞任、庄司副会長が6代目会長に就任した。金沢全求副会長が辞任し、谷口久徳、筒井公久両氏が副会長に、西村拓郎氏が東京都・関東支部長に就任。
日遊協の新定款承認(13日)【7月号】
通常総会で新定款が承認され、一般社団法人への申請作業に着手。

現行遊技機検討会が初会合(21日)【7月号】
ファン拡大のため、全日遊連、日遊協、日工組がスリーブ層、ライト層、初心者ターゲットに、ファンが気楽に楽しめてホールも設置に前向きとなるような新しいパチンコ機の開発を協議。ほぼ毎月開催。

8月
日本生産性本部が「レジャー白書2013」発表(2日)【9月号】
2012年のパチンコ・パチスロ参加人口は150万人減の1110万人。市場規模は19兆円台に戻る。
「パチスロ感謝祭2013」開催(4日)【9月号】
日遊協、回胴遊商が主催し、3回目。

遊技産業新経営者会議が初会合(27日)【9月号】
当初の名称は「次世代経営者会議」。若手経営者・幹部等45人が参加した。
警察庁保安課長に楠芳伸氏(30日)【9月号】
警察庁は長崎県警本部長に転出した古谷洋一保安課長の後任に、楠北海道警務部長を発令した。また、生活安全企画課課長補佐へ転出した玉川達也保安課課長補佐の後任に、大門雅弘広島県警捜査二課長を発令した。

9月
警察庁が風営法で新解釈運用基準(9日)【10月号】
「解釈運用基準第16の「賞品の提供方法に関する基準」「遊技機の変更」で改正。賞品提供における遊技球等との交換は、遊技料金に消費税を加えた金額の交換であると明示した。

警察庁生活安全局長に辻義之氏(13日)【10月号】
警察庁は岩瀬充明生活安全局長の退職に伴う後任に、辻警大副校長兼長官官房審議官(刑事局担当)兼生活安全局付を発令した。

9月
皇居で勤労奉仕(24~27日)【10月号】
山田久雄団長(副会長)以下36人が皇居及び赤坂御用地で奉仕活動を行った。

10月
ホール関連5団体が消費税対応ワーキング(15日)【11月号】
来月4月のアップを控え、喫緊の課題として集中協議をスタート。
警察庁が「賞品の取りそろえの充実」で通知(18日)【11月号】
警察庁は5月時点の調査から、「極めて偏った賞品しか取りそろえていない」と思われる営業所がまだに認められることは、由々しき事態」と指摘した。

親睦チャリティゴルフコンペ(25日)【11月号】
財)日本盲導犬協会への活動支援のため、茨城・阿見ゴルフクラブで開催。日遊協、業界団体から計139人が参加し、浄財46万1000円が集まった。

11月
デイズニールランド・ラスベガス研修ツアー(5~10日)【11月号】
第7回遊技産業マネジメント・カレッジ(21~22日)【11月号】
遊技産業新経営者会議が第2回会合(27日)【以上、今月号】



新経営者会議で講演者に感謝の拍手をする参加者たち



盲導犬も登壇して、庄司会長からチャリティの浄財を受ける井上理事長(右)